

会議等名	令和元年第3回海老名市外部評価委員会
日時	令和元年5月30日(木) 10:00～12:00
場所	海老名市役所 3階 政策審議室
出席者	外部評価委員：田中委員長、城向副委員長、高橋委員、山田委員、霜田委員、武井委員、杉山委員、菅生委員、西海委員(以上9名出席) 欠席：大島副委員長、長谷川委員、谷村委員 事務局：告原財務部次長、川崎政策経営係長、森谷副主幹、笠本
<p>1. 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 告原次長、森谷副主幹あいさつ →告原次長公務のため、退席</li> </ul> <p>2. あいさつ</p> <p>田中委員長</p> <p>3. 議題(進行 田中委員長)</p> <p>(1) 令和元年度の外部評価について(事務局より説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外部評価結果報告書において、外部評価委員会の総括意見の後に各委員の意見を掲載していたが、それをグループごとの意見に替えるということか。(外部評価委員)</li> <li>→ そういった意味ではなく、グループで評価の結果を各グループでまとめたうえで提出いただきたいといった趣旨である。(事務局)</li> <li>→ 委員が意見を言って、事務局が取りまとめて文章にするのではなく、外部評価委員が原案となる文章も作成するという趣旨か。(外部評価委員)</li> <li>→ そのとおり。しかし、報告書全体を見たらうえでの字句修正については、事務局で行う。(事務局)</li> <li>→ 『ですます調』や『である調』などの文面作成は難しい。グループにそのような文章の作成ができる方がいればいいが、いない場合にはどうしたらよいか。(外部評価委員)</li> <li>→ 事務局で行いたいと考えているのは、報告書全体を見たらうえでの字句修正であり、内容の修正は行わない予定である。話し言葉で文章を作成されている場合には、字句修正の範囲において、事務局として修正を行うつもりである。(事務局)</li> <li>→ 意見を述べながら文章をまとめるのは難しい。事務局でまとめてもらった文章を委員が確認し、必要に応じた修正を行う方が良いと思う。(外部評価委員)</li> <li>・ 一つの試みとして提案をさせていただいた。委員の皆さんの評価しやすさを重視したいと考えている。ニュアンスや主旨がずれてしまうことを懸念してこのような提案をさせていただいている。(事務局)</li> <li>→ 提案いただいたのであれば、各グループで方法は選択してはどうか。(外部評価委員)</li> <li>→ どのような方法でも最終的に外部評価委員会の意見としてまとめるため、表のまとめ方は、各グループで選択することとしたい。(外部評価委員)</li> <li>・ 施策全体が一覧となっている資料を提供いただきたい。(外部評価委員)</li> </ul>	

- 後ほどお渡しする。(事務局)
  - ・ 過年度評価との比較欄は、上段の外部評価欄とどのように区別するのか。(外部評価委員)
  - 外部評価欄は通常の今年度の評価を行い、過年度評価との比較は、別途記入いただきたい。(事務局)
  - ・ 過年度評価との比較を行うためのヒアリングが必要なのではないかと。(外部評価委員)
  - ・ 実際に事業を行っている職員が変更しているため、本当に意味のあるものとそうでないものがあるように思う。(外部評価委員)
  - ・ あえて過年度との比較の欄を設けず、外部評価の枠の中に記載してしまった方が良いのではないかと。(外部評価委員)
  - この枠を設けたのは、今年度の評価対象事業が過年度評価で『見直し』とされた事業としているため、評価対象事業の特徴を表しやすいのではないかと考えたためである。(事務局)
  - 今年度の評価対象事業に限った枠と考えてよいか。(外部評価委員)
  - そのとおりであるが、来年度についても評価対象事業は同様の方法で選定するため、この評価枠は設けることとなる。(事務局)
  - ・ ヒアリングは原則行わないが、必要と見受けられる事業については行うという方向でよいか。(外部評価委員)
  - 今回は新たな取組の一環として、提案をさせていただいた。その趣旨をご理解いただいたうえで、ヒアリングが必要な事業については、調整をさせていただく。(事務局)
  - 新しいやり方で行うのであれば、足りない部分を聞くヒアリングから、過年度評価に対して、所管がどのように対応したのかをヒアリングしたい。我々の思いを職員に伝える場を設けたい。直接伝えることに意味があるように思う。(外部評価委員)
  - 以前の評価時と現在で担当は変わっているにもかかわらず、内容が変わっていない事業は、何かしら変えられない事情があるはずである。しかし、それが調書の中では見えてこないようである。そういった面からもヒアリングが重要であるように思う。(外部評価委員)
  - ヒアリングは原則行わないが、どうしても必要であると判断した場合には行うこととする。(外部評価委員)
  - ・ 各評価（見直し継続、現状継続等）を行った理由が明記されていない事業が散見される。(外部評価委員)
- (2) その他
- 今後のスケジュールについて（事務局より資料に基づき説明）
  - ・ 次回の全体会については、7月23日（火）10時00分からを予定
  - 今後の行政評価調書について（事務局より説明）
  - ・ 次期総合計画における行政評価の方向性を検討し、必要に応じてご意見をいただくこととしたい。(事務局)
  - ・ 9月に案を作成する予定であったが、先に延びると考えてよいか。(外部評価委員)
  - 現段階で方向性が定まっておらず、時期をお伝え出来ない。(事務局)

- 方向性が見えないことが新たな調書の作成にどのように影響するのか。(外部評価委員)
- 現行の総合計画と次期総合計画は体系が異なっている。そのため、調書については、たたき台を事務局で示してから、外部評価委員会から意見をいただきたい(事務局)
- 次期総合計画について (事務局より資料に基づき説明)
  - ・ 海老名市外部評価委員会条例において、事務事業及び施策を評価対象とする旨が記載されているが、次期総合計画の策定に伴い、条例改正を行うと考えてよいか。(外部評価委員)
- 条例改正を行う予定はない。現在、実施計画に掲載されている事業について評価を行っていただいているが、その実施計画に替わるものと考えており、そこに掲載されている事業の評価を行うことを想定している。(事務局)
  - ・ 理念などの評価は行えないことから、実施計画でない場合にも外部評価において、大枠は変更がないのではないかと。(外部評価委員)
- 事業の評価を行うという点においては、大きな変更はないとは考えている。(事務局)

以 上